

2013年度

環境活動レポート

(2013年4月～2014年3月)

優秀賞 表彰状

株式会社新日本環境コンサルタント様

あなたは環境保全への深い理解をもって
先進性及び継続性に富んだ環境活動に
積極的取り組み行動の輪を広げ
本市の環境にやさしいまちづくりに貢献
されその功績は誠に顕著であります
よってここに福岡市環境行動賞
優秀賞を贈り表彰します

平成二十四年十一月八日

福岡市長 高島宗一郎



環境行動賞 表彰状

株式会社 新日本環境コンサルタント(ENJEC)

2014年5月1日

目 次

1.	組織の概要	2
2.	対象範囲	2
3.	環境方針	3
4.	環境目標の設定	4
5.	主要な環境活動計画の内容	5
6.	環境目標の実績	6
7.	環境活動の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	8
7. 1	二酸化炭素排出量の削減	9
7. 2	廃棄物排出量の削減	9
7. 3	総排水量の削減	9
7. 4	地域の環境保全活動への貢献	10
7. 5	化学物質使用量の削減	14
7. 6	グリーン購入の推進	14
7. 7	サービスの環境配慮	14
7. 8	エコアクション21の広報活動	14
7. 9	次年度の取組内容について	15
8.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価結果並びに 違反、訴訟などの有無	16
9.	代表者による全体評価と見直し結果	17

1. 組織の概要

- 1.1 事業所名 株式会社 新日本環境コンサルタント(ENJEC)
代表者名 代表取締役 津村 英介
- 1.2 所在地 〒815-0075 福岡市南区長丘3丁目1-18 新日環ビル
- 1.3 環境管理責任者 技術部長 木村 健
担当者氏名 総務部長 山崎 仁子
技術顧問 徳永 隆司
連絡先 TEL (092) 561-8716 FAX (092) 561-4791
Eメールアドレス shinnihon@enjec.com
URL <http://www.enjec.com>
- 1.4 事業の内容 濃度計量証明及び環境試験調査

2. 対象範囲

- 2.1 事業者 株式会社 新日本環境コンサルタント(ENJEC)
- 2.2 事業活動 環境及び飲料水等に関する分析・測定・検査・調査並びに
試験研究業務
- 2.3 対象事業所 〒815-0075 福岡市南区長丘3丁目1-18 新日環ビル

3. 環境方針

環境方針

かけがえのない地球環境を守ることが私たちの使命であること、及び当社が環境コンサルタントであることを認識し、関連法規を遵守することはもとより、地球の環境保全や生物の保護活動に貢献します。また、常に環境負荷の低減に配慮した事業活動に取り組み、以下の活動を行って、環境負荷を継続的に削減します。

1. 事業活動において、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
2. 水の使用量の削減に努めます。
3. 廃棄物を削減し、リサイクルやグリーン購入に努めます。
4. 薬品の使用量の削減と低毒化に努めます。

20011年4月1日

株式会社 新日本環境コンサルタント
代表取締役 津村 英介



4. 環境目標の設定

環境負荷の自己チェック結果及び環境取組のチェック結果に基づき、環境目標選定・決定表を作成し、その結果から環境目標を設定しました。

「二酸化炭素排出量の削減」については、当社の排出源として、自動車の燃料の使用、都市ガスの使用及び電気の使用があります。自動車の燃料については、業務の範囲が九州一円で、毎年、自動車の走行距離が大きく異なること、また、都市ガスについても湯沸器に使用する程度で、使用量が少ないため、自動車用燃料と都市ガスについては、数値目標を掲げないこととしました。二酸化炭素排出量の削減目標量は使用エネルギーすべての総量で前年度比マイナス1.5%とし、取組目標として電力の使用量を前年度比マイナス2.0%としました。

「廃棄物排出量の削減」については、廃液・汚泥の排出量(廃棄物の最終処分量)の削減(前年度以下)及び古紙リサイクル率(紙リサイクル量 / 紙購入量)85%以上を取組目標としました。

「総排水量の削減」については、下水道放流であることから給水量の削減を目標とし、前年度比マイナス2%の使用量としました。

また、当社が水質、大気、土壌などの環境関連の計量業務を行っていることから、前年度に引き続き、「地域の環境保全への貢献」を目標に掲げ、地域の井戸水の無料検査、社員の環境資格の取得、社屋の緑化、河川などの清掃活動及び天然記念物のツクシオオガヤツリの保護活動を実施しました。

化学物質使用量の削減については、PRTR 試薬の年間使用量の削減及び毒物及び劇物の保有種類の削減に取り組みました。

その他、サービスの環境配慮及びグリーン購入の促進(前年度2%増)にも取り組みました。

5. 主要な環境活動計画の内容

環境活動の実行については、「エコアクション活動手順書」を作成し、それを基に活動しました。主な活動の内容は以下の通りです。

5.1 二酸化炭素排出量の削減（前年比 1.5%削減）のための取組

購入電力量の削減（使用量の 2%削減）

- ① エアコンの適温化の徹底
- ② 昼光の利用、不在時の消灯、昼休みの消灯

自動車のエコ運転活動

5.2 廃棄物排出量の削減のための取組

古紙リサイクル率（85%以上）、紙購入量の削減及び紙類のリサイクルの推進
廃液・汚泥の減量化

- ① 廃棄物の法令に基づく適正処理の実施
- ② 廃液・汚泥の減量化（前年度以下）

5.3 総排水量の削減のための取組

節水の実施（前年度比 2%削減）

- ① 節水活動の推進

5.4 地域の環境保全活動への貢献

環境活動への参加と環境資格の取得

- ① 大濠公園と樋井川の環境活動
- ② 社屋の緑化
- ③ 社員の環境資格取得の支援
- ④ 地域の井戸水の無料検査
- ⑤ 希少水生植物のツクシオオガツリの保護活動

5.5 化学物質使用量の削減

- ① PRTR 試薬の使用量の削減
- ② 毒物・劇物の保有種類数の削減

5.6 グリーン購入の推進

グリーン製品購入量の増加

5.7 サービスの環境配慮

分析方法の見直し（少量化、低毒化）

5.8 エコアクション 21 の広報活動

環境活動レポートの作成、公表

6. 環境目標の実績

表1に本年度（2013年4月～2014年3月）及び過去2ヵ年について、E A 21を運用した結果を示します。

本年度は当社が新社屋に移転して2年目に当たり、すべての設備がフル稼働となる定常の業務形態となりました。昨年度は新社屋に移転したばかりで、購入電力量や購入水量が低めの値であったため、本年の購入電力量や購入水量は前年度比でかなり大きな値となり、是正処置を実施しても、取組目標値を達成することができませんでした。

「廃棄物排出量の削減」については、本年度から新たに古紙リサイクル率（リサイクルした古紙類の重量／購入した紙の重量）を指標として導入しました。過去の実績から判断し、目標値を85%以上で取り組んだ結果、古紙リサイクル率は98.6%で達成することができました。一方、「廃液、汚泥の減量」については、処分量の各年度毎の変動が大きく、本年度は目標値よりも約20%も多く、達成できませんでした。

「地域の環境保全への貢献」については、清掃活動への参加及び環境資格の取得などの取組を実施し、エコアクション21活動を開始して以来、継続して目標を達成しています。

「化学物質使用量の削減」については、PRTR 試薬の使用量の削減と毒物・劇物試薬の保有種類数の削減について取り組みました。年度毎の使用量の変動は業務上、やむおえない面もありますが、できるだけ減量するように努力してまいります。

その他、「グリーン購入の推進」及び「サービスの環境配慮」については、いずれも毎年目標を達成することができています。

表1 3年間の実績と中長期目標

環境目標	取組目標		2011 年度	2012 年度	2013年度 (本年度)	中長期目標 2016年度
CO ₂ 排出量の削減	購入電力量を含む省エネ (-1.5%) 総量(CO ₂ kg)	目標	151,582	年間使用量の把握*	128,053	132,037
		実績	133,259	130,004	138,162	—
	購入電力量の削減 (-2%) (kWh)	目標	251,091	年間使用量の把握*	219,888	219,716
		実績	227,146	224,376	233,445	—
廃棄物排出量の削減	古紙リサイクル率 (%)	目標	—	—	85 以上	85 以上
		実績	—	—	98.6	—
	廃液・汚泥の減量 (前年度以下) 処分量 (kg)	目標	7,278 以下	7,340 以下	4,569 以下	5,472 以下
		実績	7,340	4,569	5,472	—
総排水量の削減	節水の実施 (-2%) 水量(m ³)	目標	2,458 以下	年間使用量の把握*	1,454	1,572
		実績	1,953	1,484	1,671	—
地域の環境保全への貢献	地域環境活動への参加 (点)	目標	30 以上	30 以上	30 以上	30 以上
		実績	42	38	56	—
化学物質使用量の削減	PRTR 薬品の使用量の削減 (前年度以下) 量(kg)	目標	使用量の把握	5.36 以下	5.76 以下	5.42 以下
		実績	5.36	5.76	5.42	—
グリーン購入の推進	製品購入額の増加 (+2%) 額 (円)	目標	購入額の把握	563,248	760,159	830,829
		実績	552,204	745,254	782,909	—
サービスの環境配慮	分析試薬の底毒化実施数 (件)	目標	1 以上	1 以上	1 以上	1 以上
		実績	1	2	2	—

排出係数は 0.369kg-CO₂/kWh (平成 21 年度,九州電力)

* : 新社屋への移転 (2012 年 1 月) に伴い、2012 年度は使用量を把握した。

7. 環境活動の取組結果とその評価、次年度以降の

取組内容

本年度（2013年度）の実績と来年度の目標を表2にまとめて示します。

表2 本年度の実績と来年度の目標

環境目標	取組目標	単位	2013年度	2014年度
CO ² 排出量の削減	購入電力量の削減を含む省エネ (-1.5%)	年間総量 (CO ₂ kg)	138,162	136,089
	購入電力量の削減 (-2%)	年間電力量 (kWh)	233,445	228,776
廃棄物排出量の削減	古紙リサイクル率 (85以上)	(%)	98.6	85以上
	廃液・汚泥の減量 (前年度以下)	処分量 (kg)	5,472以下	5,472以下
総排水量の削減	節水の実施 (-2%)	年間総量 (m ³)	1,671	1,637
地域の環境保全への貢献	地域環境活動への参加	1(点) / 1回	56	30以上
	社員の環境資格の取得	5(点) / 1人		
化学物質使用量の削減	PRTR薬品の削減 (前年度以下)	年間使用量 (kg)	5.42	5.42以下
	毒物・劇物の削減 (前年以下)	期末在庫種類数(種)	44	44以下
グリーン購入の推進	製品購入額の増加 (+2%)	購入額 (円)	782,909	798,567
サービスの環境配慮	分析試薬の低毒化	実施件数(件)	2	1以上

7.1 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	単位	2013 年度目標	実績	達成
購入電力量の削減 (-2%)	年間総量 (kWh)	219,888	233,445	×

本年の購入電力量は目標値よりも6%増となり、2013年10月に是正処置を実施しましたが、わずかに改善された程度で、取組目標値を達成することができませんでした。本年度は当社が新社屋に移転して2年目に当たり、すべての設備がフル稼働となる定常の業務形態となりました。昨年度は新社屋に移転したばかりで、購入電力量が、まだ少なく、その数値をベースに目標値を設定したために達成することが難しくなっていると考えています。

7.2 廃棄物排出量の削減

取組目標	単位	2013 年度目標	実績	達成
古紙リサイクル率	(%)	85 以上	98.6	○
廃液・汚泥の減量 (前年以下)	処分量 (kg)	4,569 以下	5,472	×

古紙リサイクル率 (紙類のリサイクル量 kg/紙購入量 kg)を85%以上で取り組んだ結果、98.6%で達成することができました。

紙購入量については裏紙使用の徹底化などを実施し、紙類のリサイクル活動については、福岡県中小企業家同友会、地球環境問題委員会が実施している古紙回収活動に参加し、ダンボールなどすべての紙類を対象にリサイクルに努めました。

一方、廃液・汚泥の減量化については、目標の前年度以下を達成することができず、約20%も増加しました。この増加の原因としては、業務量の増加及びアシスタント社員を増員したため、安全性の面から実験器材の洗浄をより丁寧にするように指導したためと考えています。

7.3 総排水量の削減

取組目標	単位	2013 年度目標	実績	達成
節水の実施 (-2%)	年間総量(m ³)	1,454	1,671	×

水道水の購入量は目標値よりも15%増と大幅に増加しました。2014年1月に

是正処置を実施し、冷却水の使用量を削減するため、市販の蒸留水を購入するなど改善に努めましたが、取組目標値を達成することができませんでした。購入電力量が増加したことと同様に、新社屋に移転して2年目に当たり、すべての設備がフル稼働となる定常の業務形態となったことが主な原因と考えています。

7.4 地域の環境保全活動への貢献

取組目標	単位	2013 年度目標	実績	達成
地域環境活動への参加	1 点/一人	30 点以上	56 点	○
社員の環境資格の取得	5 点/一人			

7.4.1 地域環境活動への参加

大濠公園（写真1）と樋井川（写真2）の清掃活動及びツクシオオガヤツリの調査などの地域環境活動に、のべ21人が参加しました。大濠公園の環境活動としては、毎月1回、実施されている大濠公園クリーンアップ隊の清掃活動に、毎回、2名ずつの参加を目標としています。また、樋井川の環境活動では、地域の住民で組織している「樋井川を楽しむ会」が実施している清掃活動に参加すると共に活動費の支援などを行っています。

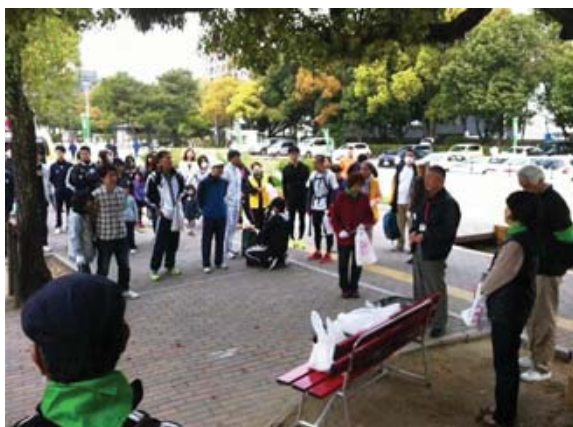


写真1 大濠公園の清掃風景



写真2 樋井川の清掃風景

7.4.2 社屋の緑化

5月から9月の間、社屋の南側のガラス面に緑のカーテンとして、本年はアサガオ、ヒョウタン、フウセンカズラを栽培し、社屋の緑化を実施しました（写真3、4）。三品種はいずれも壁面に沿って良く繁茂し、社員からたいへん良い評価を受けました。



写真3 アサガオによる壁面緑化



写真4 ヒョウタンによる壁面緑化

7.4.3 社員の環境資格取得

「エコアクション活動手順書」に社員が環境資格を取得する際の講習会への参加費、受験費の支援、また、資格取得した際には「資格手当」を明文化するなど、社員の環境資格取得の支援を行っています。本年度内では、のべ7名が計量士や臭気判定士の資格を取得しました。環境資格の取得は本人及び当社のみならず広い意味での社会環境の三者にとって有意義なことと考えており、毎年、支援を続けていく予定です。

当社で指定している資格は以下のとおりです。

- ①技術士、②技術士補、③環境計量士（濃度）、④環境計量士（騒音、振動）、⑤作業環境測定士1種、⑥作業環境測定士2種、⑦臭気判定士、⑧放射線取扱主任者、⑨特別管理産業廃棄物管理責任者、⑩水道技術管理者、⑪土壌汚染調査技術管理者、⑫小型船舶操縦士

7.4.4 地域の井戸水の無料検査

当社は水質分析を業務としていることから、地域の井戸水の無料検査を環境活動として毎年実施しています。2013年8月8日に地域のコミュニティ紙「まいんず」（写真5）で無料検査の募集を行ったところ、47件の依頼がありました。実施後、依頼者からお礼の手紙を頂くなど、地域との繋がりができると共に当社のPRともなり、たいへん大きな効果があったと考えています。

2013年（平成25年） 8月8日 **ミニコミまいんず** **検索**

地域の井戸水を無料で水質検査（9月末迄） 長丘で28年目の（株）新日本環境コンサルタント

浄水器を設置したり、ペットボトル入りのおいしい水を買ったり、おいしい水“安心安全の水”への関心が高まる昨今、「井戸水は美味しいと思うのだけれど、飲み水として大丈夫なのか心配」という井戸のある家庭に、今年も無料検査の朗報が。
長丘3丁目飲料水質検査や環境調査を専門とする（株）新日本環境コンサルタントが、今年も無料検査の朗報が。

専門技術で地もとに恩返し

「二昨年より長丘3丁目のカツバ寿司裏に社屋を新築移転し、今年で長丘で創業28年になります。此の地で長年仕事ができるのも地域あつてこそ。そこで我々の専門性が生かせる技術で、地元へ恩返しをしよう」と無償検査を実施することにしました。と、同社の山崎部長。

水質検査

検査は、理化学試験10種と細菌試験2種の12項目にわたり、通常依頼すると約1万円かかるもの。今回の井戸水無料検査は、事前に電話で「まいんず」で見たと告げると専用の容器を貸してもらえるので、それに自宅の井戸水を採取して同社に持ち込めば検査をしてくれる。結果は1週間ほどでわかるという。「大震災で水道が断水し井戸水の大切さが見直された。この機会に無料検査を受けてみませんか。但しこれは個人宅が対象です。業者の方はご遠慮下さい」と同社では話している。

社屋の新築移転から2周年目を迎え

「二昨年より長丘3丁目のカツバ寿司裏に社屋を新築移転し、今年で長丘で創業28年になります。此の地で長年仕事ができるのも地域あつてこそ。そこで我々の専門性が生かせる技術で、地元へ恩返しをしよう」と無償検査を実施することにしました。と、同社の山崎部長。

境コンサルタント（津村 英介社長・社員36名）では、地域貢献の一環として、9月末まで個人宅の井戸の水質を無料で検査してくれるというのだ。この地域貢献は今年で5年目となる。

社屋の新築移転から2周年目を迎え

「二昨年より長丘3丁目のカツバ寿司裏に社屋を新築移転し、今年で長丘で創業28年になります。此の地で長年仕事ができるのも地域あつてこそ。そこで我々の専門性が生かせる技術で、地元へ恩返しをしよう」と無償検査を実施することにしました。と、同社の山崎部長。

サニー長丘店
新日環ビル
カツバ寿司
長丘3丁目
七隈 ~大池通り~ 野間→
（株）新日本環境コンサルタント
問合せ ☎092-561-8716
前区長丘3-1-18新日環ビル



写真5 井戸水の無料検査の募集

7.4.5 希少水生植物のツクシオオガヤツリの保護活動

ツクシオオガヤツリはカヤツリグサ科の湿地植物で、福岡県指定天然記念物、環境省レッドデータブック絶滅危惧種 IB 類に指定された植物です。福岡市の大濠公園に隣接する小さな池の群落が天然記念物に指定されています（写真6）。ツクシオオガヤツリは中国の宗との貿易の際に博多に着いた荷物に種子がついてきたものだと言われています。この植物の保護を目的にして、福岡市内の池、沼での分布状況の調査を行っています。分布調査の中では、新たな繁茂池を発見するなど、有意義な活動を行っています（写真7）。



写真6 ツクシオオガヤツリ
(福岡県指定天然記念物、福岡城址池)



写真7 野間大池での繁茂状況

7.5 化学物質使用量の削減

取組目標	単位	2013 度目標	実績	達成
PRTR 薬品の削減	年間使用量(kg)	5.76 以下	5.42	○
毒・劇物の削減	保有種類数 (種)	43 以下	44	×

PRTR薬品の使用量は目標値よりも6%減少し、達成することができました。薬品の使用量は分析方法が公的に定められていることから、削減が難しい面がありますが本年は何とか達成することができました。「毒・劇物の削減」については、保有種類数が目標数よりも1種増加し、達成できませんでした。

7.6 グリーン購入の推進

取組目標	単位	2013 度目標	実績	達成
購入量の増加	購入額 (円)	760,159	782,909	○

目標を昨年度実績の2%増として取り組み、結果は目標値を3%上回り、達成することができました。来年度も引き続き同じように活動を続けていきます。

7.7 サービスの環境配慮

取組目標として「分析試薬の低毒化」を掲げ、年間に1件以上必ず取り組むこととしています。本年度は、フェノールの測定におけるクロロホルム使用の変更及び非イオン界面活性剤測定におけるベンゼン使用の変更に取り組みました。

7.8 エコアクション21の広報活動

2012年度版環境活動レポートを2013年5月1日に作成し、EA21地域事務局を通して公開すると共に当社の取引先及び来客者に配布しました。また、当社のホームページで公開しました。2013年度版環境活動レポートは2014年5月1日に発行し、公表いたします。

7.9 次年度以降の取組内容について

昨年度は当社が新社屋に移転したことから、二酸化炭素排出量や総排水量について、「新社屋での年間使用量の把握」を目標に活動を実施しました。本年度は、その数値をベースに削減目標値を設定し、活動しました。ところが、本年度の結果は是正処置などを実施したにもかかわらず、削減目標値を達成することができませんでした。その原因は、本年度は当社が新社屋に移転して2年目に当たり、すべての設備がフル稼働となる定常の業務形態となり、社屋に移転したばかりの昨年度よりも大きな値になったためと考えています。また、当社の業務内容及び量は年度当初に行われる入札などの結果により大きく変化するため、取組の目標となる数値は前年度の実績を基に決めていました。そのため、経年的に見ると目標値が上下する現象が生じていました。これらのことから、来年度以降は、「二酸化炭素排出量の削減」及び「総排水量の削減」についての目標値を決定する際には、新社屋での定常状態と考えられる2013年度の実績値をベースに目標値を定めることとし、3年先までの値を表3のように決めました。

表3 二酸化炭素排出量及び総排水量の3ヵ年削減計画目標値

環境目標	取組目標	単位	基準年 (2013年)	2014年度	2015年度	2016年度
CO ₂ 排出量の削減	購入電力量の削減を含む省エネ (-1.5%)	年間総量 (CO ₂ kg)	138,162	136,089	134,048	132,037
	購入電力量の削減 (-2%)	年間電力量 (kWh)	233,445	228,776	224,200	219,716
総排水量の削減	節水の実施 (-2%)	年間総量 (m ³)	1,671	1,637	1,604	1,572

また、昨年度から新たな方向として、「造酸素活動」に取り組んでおり、来年度も、社屋の南側面の緑化をフウセンカズラ、ヒョウタン、アサガオで実施する予定にしています。また、新たな活動を模索してまいります。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟などの有無

当社に係る環境関連法規の内容と遵守状況を確認した結果を表4に示します。表4に示すように、問題はなく、過去3年間においても法規違反事例はありません。また、関係機関などからの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情もありません。

表4 当社に係る環境関連法規と遵守状況の概況

法律名等	対象設備・作業等	確認日	手段	確認
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	イ. 処分先の確認	6月11日	電話	○
	ロ. 適正保管	6月12日	現場	○
	ハ. マニフェストの管理	6月12日	帳簿	○
下水道法	ニ. 測定の結果報告	6月12日	記録	○
毒物及び劇物取締法	ホ. 試薬の管理	6月13日	帳簿	○
	ヘ. 毒劇物の表示	6月13日	現場	○
悪臭防止法	ト. 苦情の有無	6月13日	記録	○
消防法	チ. 設備基準	6月13日	現場	○
	リ. 点検結果	6月13日	帳簿	○
放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律	ヌ. 表示の状況	6月12日	現場	○
	ル. 放射線の測定	6月12日	記録	○
フロン回収・破壊法	イ. 適正処分	6月13日	記録	○

9. 代表者による全体評価と見直し結果

2014年4月の「定期的見直し」での評価及び指示内容は以下のとおりでした。節電、節水及び廃棄物の削減については、全社員が意欲的に取り組んでいることは良く分かりますが、さらにもう一歩進んで、全員で新たな取り組みを考えてください。新社屋への移転に伴い、新たな気持ちで、エコアクションに取り組み、経営に役立てていくこと。また、PDCAサイクルの機能達成度については、Cのチェックが停滞しており、改善をして次のPの計画をしっかりと立てるようにしてください。

以上の評価及び指示に基づき、毎週月曜日の朝の全体会議の中で、エコアクションの活動の反省を行うと共に社員全員で改善策を協議、検討しながら推進していきます。